

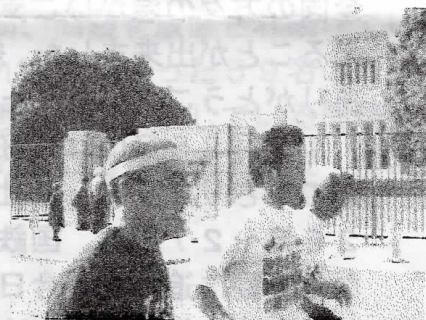
「国会前54日間連続フルマラソンアピール行動」を終えて…

【この企画への思い…】

昨年の道険笑歩No.17にも掲載いたしました。なぜ、この行動を取り組んだのかを思い起こす意味で、もう一度掲載します。

この企画は、昨年、春の国会前座り込みの時に思い立ちました。「座り込みの他にアピールできること…」と思案していたとき、春の東京マラソンで、65才のさいたま市の男性が、フルマラソン連続51日間のギネスブック記録を1日更新する記事を見てヒントを頂きプランをたてました。闘い半ばで亡くなられた方が、企画当時54名（現在59名）であることから、亡くなられた方々の鎮魂と無念の思いをのせ、毎日国会前を32周走り、目的が違うためギネスに申請はしないまでも、この行動を走りきるとギネス記録を超えるという付加価値を付けることにより、私たちの問題をさらにアピールすることができると思いましたし、当事者の思いを十分伝えることができるのではと考えました。

四国に常駐して今日まで、5年前の高知～東京を走った「1047kmランニングキャラバン」をはじめ、地方から中央へ運動を押し上げる意味で様々な取り組みをしてきました。



私たちの闘いは、その時々政治の状況に左右されてきました。自公政権が続いても実行するつもりでしたが、昨年の衆議院議員総選挙で政権交代が実現し「この問題が23年も24年にならないように努力する」と、昨年2月16日に星陵会館で開催された集会に参加し、発言した鳩山民主党幹事長（当時）が総理大臣になったわけですから、政治の責任で解決させるには、間髪入れずに自分たちの要求を押し込まなければ、様々な政治課題の中で、私たちの問題が先延ばしにされてしまうのではないかと感じたので、政治の中核の場で勝負をかける意味で国会前は外せないと思いました。

【54日間を振り返り…】

こういう言い方をしますと叱られるかもしれませんが、企画段階から54日間、走り切れるという確信は持てませんでした。ただ、余程のアクシデントがあるか、自分の心が折れないかぎり、手と足を動かしていれば、少しずつでも前に進むし、何とかゴールまで辿り着かせることが出来るのではと思い描いていました。

しかし、実行に移すには、当然、行動に見合う最大限の努力をしなければなりません。いつもの年と違い、6月末のサロマ湖100kmマラソン以降も休まず走り込みをして、この行動に耐えうる精神と体力を研ぎ澄ましてきました。そのかいあって、10月には身体が出来上がっていましたが、気合が空回りし過ぎて、オーバートレーニングで、疲労を引きずったまま11月1日を迎えることになってしまいました。

第1日目、調整失敗の不安は的中して、残り1周で左足のふくらはぎを痙攣させ、足にダメージを与えることとなり、このことが原因で、右すねの筋肉、左足の膝を痛め、11月一杯、痛みに苦しめられる結果となりました。